

## Windows 10 の正体見たり

前段（予備調査）

現在4台のPCが繋がった無線LANを使用しています。

Windows 7 プリインストールのデスクトップが1台、XPのデスクトップが1台、あとはXPのノートです。

Windows 7のPCはe-TaxやeLTAXを使う上でどうしても必要、仕方なく5年前に導入しました。XPから7へのデータやアプリ・プログラムの移し換え、周辺機器のドライバの整備は大変でした。

今後、遅かれ早かれネットワークからXPのデスクトップは外し（これは7をクリーン・インストールする予定）、代わりにメインPCとしてWindows 10 プリインストールのPCを導入しなければなりません。

現在のメインPC（7）はサブへ回すのですが、一体Windows 7と10は何処がどう違うのか？全体像がよく分かりませんでした。

注 初めて「7」を導入した時の正直な感想を述べますと、確かにユーザー・インターフェースは随分違うけれどもコアの部分は同じようなものだと感じました。

「10」と「7」の間には「8」がありますが、「8」はタブレット端末の使い勝手を実現したOSということで、ビジネス・シーンでは殆ど受け入れられなかったと記憶しています。

Windows 10と7は一体何が違うのか？Windows 10を7の延長線上で使いこなすためにどうすればよいのか、このところずっと調査していました。

調査の方法ですが、とりあえずWindows 10の不明な点、気になる点をネット記事で調べ、更に全体像を確認するために「今すぐ使えるかんたん Windows 10 改訂3版（2018年1月8日）」（税抜千円）を利用しました。この本、基本的な部分の確認には意外に重宝しました。仕事柄、つついハイビット・ハイサンプル対応の音楽プレーヤーや出力プラグインなどに関心がいつてしまうのですが、勿論そんな事はこの本には書いてありません。

「10」の全体像を押さえることはシステム全体の時系列的なバランスをとる上でも大切なことだと思います。

調査の結果、次のようなWindows 10のネット接続を前提とする機能は使用しないことにします。

- 1 Windows アカウントは使わず（今まで通り）ローカルアカウントを使用する。

## 2 OneDrive

今まで通り PC 内にデータなどは保存し、ネット上の何処かに Microsoft が用意した記憶域などを使わない。これは好みの問題ではなく、無線ネットワーク上の PC 同士でデータをやりとりする際に必要だからです。

## 3 Microsoft ストアのアプリは使用しない（後述の「6 項」が関係します）。

## 4 従ってウイルス対策としての Windows Defender（10 の場合は 7 の Defender と違いスパイウェア対策だけではなくウイルス対策の機能もある由）は使用しない。

そもそもウイルス対策ソフトには問題があり過ぎるので、従来から使用しないことを基本としてきました。

先日、7 の Windows Update のオプション更新プログラムに「Microsoft Security Essentials」（スパイウェア対策＋ウイルス対策）があることを発見、ウーンと迷いましたが、試しにインストールしてみました（この場合は Defender が停止する由）。予想通りで結果はイマイチ、従来のウイルス対策ソフトと変り映えしません。

見方にもよりますが、本来の PC の働きを邪魔するという点でウイルスとウイルス対策プログラムは同じようなモノだし、両者のイタチゴッコがずうっと続くわけです。常時ネットに接続していないと機能しないスマホの対ウイルス・リスクは PC のそれよりずっと高いはずですし、ネット上の何処でどのようなトラブルが起こるかは予想が付きません。このスマホに比べれば PC の方はずっとマシで、自分自身でいろいろ工夫する余地があります。

Microsoft が 10 でスパイウェア対策とウイルス対策ソフトを無償で提供する狙いは分からないでもないのですが、それで 100%保証されるわけではありません。

やはりより確実な対策は PC を利用する人間の（危険を事前に察知する）能力を高めること、経験を積んで的確な判断と対処が出来るようにすることです。

つまり対策ソフト以前の「予防」が重要なのです。

大切なデータ、例えば ID やパスワードが流出すると大変ですが、こうしたデータはネット上の何処かで相手方も持っているわけです。つまりこちら側だけにリスクがあるわけではないのです。それに万が一スパイウェアやウイルスに感染しても PC を回復することは可能です。

こうしたセキュリティ対策については費用&手間&時間損失対効果が問題です。

更に

## 5 コルタナは使用停止（カーナビとは違い PC では音声ガイドは不要です）。

## 6 ブラウザとしては Edge ではなく付属の IE11 を使う。

Edge の「ウリ」は一体何でしょうか？ どうも Microsoft Store で入手する「拡張機能」のようですが、その内容を見ると別に無くとも困ることはないと思えます。

これ以外は今までのブラウザとたいして違いはないようですし、現時点では e-Tax や

eLTAX は Edge をサポートしていません。

もしかすると「10」は IE11 をずーっと引き摺っていくのかもしれない、とすれば案外 Windows 7 のままで大丈夫なのかもしれません。

次に PC の周辺機器のドライバやアプリケーション・ソフトの「10」対応という観点から 10 を観ていきます。

もしそれらに Windows 10 対応のドライバやバージョンがあれば、勿論それを使用すべきです。

しかし機器やアプリが旧くて 10 対応のサポートをしていない場合でも、それらが 7 対応であれば、10 の「互換モード」で動かせる可能性が高いと思われます。

振り返ってみますと XP と Vista&7 の間には心理的にもかなり高いハードルがありました。Vista は動作が重すぎて不評でしたが、7 では（ハードウェアの進歩も相まって）それが大幅に改善されたのでビジネス・シーンでは 7 が主力となったわけです。

Windows 10 はそうした経緯を踏まえて出来上がっているはずなので、コアの部分は 7 と同じようなモノではないかと思われます。7 と 10 に根本的な違いはないのではないかと思います。前述したように 10 が IE11 を標準装備していること、せざるを得なかったことはその表れではないでしょうか。

もし Windows 10 からスマホ的・タブレット的要素を剥ぎ取ってしまうと 7 とたいして変わらないのであれば苦勞して 7 を導入しなければならない必然性は見当たりません。

7 より 10 の方がずっと使い易いというのなら喜んで導入するのですが・・・。

世の中全般はどう動いていくのか？ 10 の方へ流れていくのならこちらとしてもそれに対応せざるを得ません。

一応今年の秋には 10 が動いているようなスケジュールで準備を進めたいと思います。

(前段「了」)

次は別記事になりますが（リンクは「お役立ち」一覧より）、下記 3 種類の試行についての記録です。

- 1 XP Pro 32bit から Win.7 Pro 64bit へ (ci)
- 2 XP Pro 32bit から Vista 32bit へ (ui) (注：その後 Win.7 Pro 64bit へ移行)
- 3 XP Pro 32bit から Win.7 Pro 32bit へ (ci)

後段 (Win.10 の導入)

Win.XP から Win.7 へ移行する作業を実施してきましたが、そうこうするうち Win.10 Pro 64bit プリインストールのデスクトップ本体が到着してしまいました。

前段で Win.10 の使い方の方針は決めてあったわけですが、実際に使ってみないと分からない点やニュアンスというものがあります。

まず驚いた事は画面構成とユーザー・インターフェースです。一体何をどうすれば必要な作業が出来るのか、最初は皆目見当が付きません。

初期設定は Win.10 のガイダンスとあらかじめ定めた方針に沿って進めました。これはこれで良かったと思えます。私の使い方にとっては正しかったということです。

しかし全く予想していなかった事は PC メーカーの DELL が沢山のオンライン・ベース・ソフトをプリインストールしていた事です。(全く余計なお世話ですが) マカフィーというウィルス対策プログラムまでインストールされていました (ただし 1 年間の試用)。

アンチ・ウィルス・プログラムというものはやっかいな代物で、使い手が下手をしなくとも PC の正常な動作を妨げることが多々あります。当然 (即) 削除しました。

これ以外の DELL のプログラムについては様子を見ながら削除してゆくつもりです。

最近の DELL は昔の日本のパソコン・メーカーと同じでオマケ・ソフトを沢山入れているようです。

さて、Win.10 プリインストール・マシンの最大にして相変らずの問題はフォルダの共有・アクセス権の設定でした。今回もその設定で苦労しましたが、その内容は今までに経験したものと基本的には同じでした。

この問題は、例えば家族 4 人 (親 2 人、子供 2 人) で家庭内 LAN を組んでいる場合は発生しないと思われます。つまり互いの個人領域を覗けないようにするのがフツーだからです。詳しい説明は省略しますが、OS の初期設定はこうした事態を想定しているように思われました

しかし私の場合は複数台の PC の内容が互いに見えて、お互いのフォルダ・ファイルをコピーしたりしますので、どうしても「OS (C)」の直下のフォルダ (特に「Documents and Settings」) の共有・アクセス権の設定は重要です。

こうした事以外には Win.10 について特筆すべきことはあまり無かったように思います。

(後段「了」)